

第2回笠周地域振興計画策定委員会

日時：平成25年7月1日（月）午後1時30分～

場所：中野方振興事務所会議室

1. 委員長あいさつ

■ 今日で実質3回目の会議になる。前回のワークショップで話し合った内容をまとめてもらったので、皆さん目を通してきていただいているかと思うが、今日は、3部門に分かれてもう一度確認してもらいたい。また、追加することがないかも検討していただきたい。その後、全体でできれば笠周計画のおおよその内容ができあがればいいと思う。

なお、全体会議では、地元市議会議員にも傍聴していただくためにお呼びしてあるのでご承知置きいただきたい。また、リニアまちづくり課から冒頭にリニアを生かしたまちづくりについて説明をいただくことになっている。この笠周計画にも参考になるかと思う。今日は、こうした形で進めて行きたいのでよろしくお願ひしたい。

2. リニアを生かしたまちづくりについて説明・・・リニアまちづくり課

3. グループ別協議

■ 部門別のグループごとで意見交換

観光・産業振興・生活基盤の3グループ

4. グループ協議の報告

■ 1グループ(観光)

観光については、点を結ぶということで道路が大事と話していた。道路は生活基盤で協議してもらえるが、観光でもあげていかないともらえることもある。

観光地はトイレ等の施設整備も必要。前回は入っていなかった「木曾川」「ウォーキング」「森林」「ほたる祭り」「ボルダリング」なども入れて欲しいし、河川公園のようなものも欲しい。また、望郷の森の物見岩は、管理者責任を問われることから手すり等の安全面を充実させる。観光マップが出来つつあるが、マップを置く場所、目的等も取り組んでいく。

棚田は大型車が入れないし、作業後のシャワー設備もない。また、ビジターセンターやテント村を使ってもらえるようにしていくと良いので宿泊施設の充実が必要。

いずれにしても28年度から30年度をめどにできる事業として何が必要なのかを見極める必要がある。

■ 2グループ(産業振興)

グリーンピア跡地の有効活用について、公衆トイレの設置は水の問題や栗園が時期的な事業である。トイレは年中維持管理も必要になってくることから検討が必要。

栗園振興における3町連携だが、笠週地域のこれからの産業振興のメインにしたい。組合長も日本一の栗園を目指すとの意気込みを持ってみえるので、栗園については、3町が

同じ気持ちで取り組むことが大切。具体的な青写真は不明だが、笠置も飯地も中野方と同様に組合員になり、賛助会員になって組織の体制を整える。この笠周計画でどれを取り込むかは決まらなかったが、レール設置とか運搬車、作業車等についてももう一度検討して取り込んでいきたい。

栗企業研究所の誘致は、調査等も含めて行政でも積極的に取り組んで欲しい。

農産物の3町合同出荷は、今は不動滝で中野方のみでやっているが、笠置や飯地でも同様な取り組みを検討している。当面は、不動滝へ3町が野菜を出し、その間にそれぞれが体制を整える。少し様子を見る必要がある。

インターネット発信については、3町合同のHPを専任者を雇用して立ち上げ、ネット販売も行うように進める。

統一の行事予定については、3町それぞれの行事を把握することでお互いが参加できるような体制にするために作成する。

■ 3グループ（生活基盤）

道路整備については、新東雲橋を基点に笠置農道～旧グリーンピア入口（寺久保林道）～中野方～勢井後橋～飯中線～飯地の東西の道を軸に整備する。それに接続する寺田石山線などの南北の道路整備も必要。なお、現時点では、優先順位をつけることはできないが、恵那白川線の迂回、栗園等への観光、産業等の位置づけになる。また、市が直接の事業主体になるわけではないが、県道の改良も引き続き要望を続けて欲しい。（恵那白川線、恵那八百津線、恵那七宗線など）

福祉については、飯地町には介護施設がないのでこういった形であれ必要である。

前回出した総合防災福祉救急センターについて、いわゆる消防署北分署だが、南部地域には分署があるのになぜ笠周地域には無いのかという思いがある。市全体のバランスから見てももう一度要望して行きたい。

5. 全体意見交換

委員：各グループで出た意見を笠周3町として、どれを27年までに、どれを31年までに行う事業として上げていくかを決める必要がある。よって、優先順位を付けるような話し合いが必要ではないか？

委員長：皆さんそういったことでいいか。事務局としてはどうか。優先順位は必要か。

事務局：道路整備については、同時にはできないと思う。年度を分けて前期、中期、後期に分けて順位が付いたほうが担当課にも相談しやすい。

委員長：道路については、順位をつけて他については全体的でという形でよいか。

事務局：3町合同の振興計画なので、計画にストーリー性が欲しい。できればそういった

話し合いもお願いできればと思う。

委員：3町で行う事業は限られてしまう。そうなる则救急体制については目玉の1つではないか。消防の本部体制を強化し、恵南地区に3つある分署を整理するから笠周もがまんしてくれという話しならわかるが、恵南をそのままにしておいて笠周には整備しないという考え方が見えてくる。分署を作ってくれというわけではないが、何か形として共同の提案として出していききたい。

委員：分署の整備ではなく、救急車の配備だけでもいいと言っているのだからそういった意を汲んでもらいたい。

委員長：議会の答弁でも、はっきり北分署は作らないと言っている。

事務局：北分署については市としての方針が出て説明をさせていただいているので、名称は変わっても難しいのではないかと思う。ストーリーと言ったのは、事業単位ではなく3町合同でできる計画を描いていただけたらいいということ。

委員：防災と救急医療は必要なことで、3町合同で出せることはいくつもない。道路網の整備と救急体制ぐらいではないか。後は、それぞれの計画をあげていくことになるのではないか。

委員長：若い人から高齢者までが住んで良かったと言えるまちをつくっていくための計画にして行きたい。道路は優先順位を付け、後は話し合ったことについてストーリーを描いて、全部は無理でも拾い上げて行きたい。

委員：今は3グループに別れて話し合っているが、それぞれリンクしていて共通性がある。内容的にすり合わせができるのではないか。1つは道路がなければ産業も発展しないし、観光も同様であるので道路整備は必要である。

もう1つは救急体制で、小さなお子さんを抱えている家庭では本当に不安を持っている。地域懇談会でも明確な回答はもらえないし、先般の議会でも北分署は作らないと言われていた。そのあたり話を戻すと合併時の地域の約束ごとで北分署は作ってもらえるように思っていたが、いつ頃からか話が無くなってしまった。今回、いい機会なので委員会で議論してできるできないは別にして市に出して行きたい。この委員会は地域住民の気持ちを汲むことができる場と思っているので、簡単に却下されることのないようにして行きたい。

委員：笠周として救急体制は必要であるとアピールしていく。分署については、財政面から難しいとの見解が出ているが、金が無いから作らないでは私たちの生命はどうなるのか？そういった意味からも3町の合同事業として出して欲しい。

事務局：振興計画答申の考え方だが、出たもの全部をあげて事務局で査定して整理するといったものではない。事務局としても各担当課に紹介して実現性などを検討していくことになる。よって、出た意見100%のものではなく、だいたいのものにして計画として答申していただくことになる。

事務局：そういった方向になると思う。出してもらっている中で、ストーリー性があるものと年度別(26～31年度の中で前期、中期、後期)の年次計画も相談させてもらう。

救急体制については、難しいところだが要望としてあげていただいても実現できなくなってしまうこともあるので、この件については詰める必要がある。

委員：この中にはお金がかからず、すぐにできるものもある。例えば3町合同行事予定表など。

事務局：出来る限りここでの議論を尊重していきたいが、まだ事業費も出ていない中なので、事務局としても担当課と協議をして事業費を出し、実現性の無いものを振興計画として出しては行けないと思うので、相談をしながら調整をしていくことになる。

委員：笠周地域が産業や観光をどう生かしていくかも課題である。リニアの説明でも定住の話がでたが、笠周地域にとって住宅は少子化の問題で取り組んでいかなければいけないこと。そういった意味でも新東雲橋を生かして地域の活性化を考えてはどうか。道路が一番大切で、その入口には多くの人が集える設備が必要である。長期的な課題は、道路と住宅ではないか。

委員：飯地でも問題は山済みである。まずは、飯地の課題に専門的に取り組んでもらえる人材を配置して欲しい。我々は、こういった会議で計画を考えることはできるが、具体的に現実的には動けない。そういった職員の配置を望む。

事務局：道路部分について少し深く掘り下げて議論をお願いしたい。

委員：3町共通のテーマは道路である。観光でも生活基盤でも必要になってくる。地図の案は有効な道路で、迂回路、生活道路、観光道路などあらゆる面で活用できる。

この道路整備が一番ではないか。そのためには、今道路の無いところから始めるのがよいのではないか。

また、観光はどうしても規模が小さくなるが、「棚田」についても道路整備も含めて整備して欲しい。救急体制は、中野方で北分署は作らないといわれている以上例えば、救急車のみの配置などそれに代わる方法が必要との意見が出たので考えて欲しい。

委員：笠置峡は桜できれいだが、木にコケがついていてだんだん枯れてしまうのではないか。この保護も必要ではないか。

委員：道路は、他の事業として計画にあがっている箇所もある。東西の道はつながらなければ意味がないので、市の単独事業としても効率よく早くできるところから検討する。ことが判断材料のひとつになるのではないか。

委員：道路は、どこも早くやって欲しいということになると思う。

委員：市は、補助事業を最優先にするのではないか。また、施設を減らそうとしている中で、北分署のようにハード的な施設を新しく作ってくれという意見は通らないということだと思う。この中でも皆さん遠慮してハード的な施設は、いっさい出していないが、その

あたりはこの委員会で出した意見がどうなるのか？

事務局：市は3町を振興させるため、特別に31年までに合併特例債を使ってやって行こうと考えた。そこで委員会を作り計画を考えてもらっている。市長もできるだけ委員会の意見は最大限尊重してやっていこうという考えだと思う。ただ、何でもいいかというわけではなく、6年間で事業を見極め、財源を合わせて計画を立て実施していくことになる。要望として出してもらえばいいというものではなく、答申をしてもらおう振興計画は、出来るだけ市として自信を持ってやりますよという方向に持って行きたい思いがある。

道路は重要だが、6年間の中ではできないのでこれとこれとこれ、後はその次ということになると思う。同時に救急体制についても地域の思いがあるので、しっかり検討させてもらうが、その中でこうなりますよという相談を委員会にしていきたい。

よって、振興計画ではこれをやりますよという内容にしてもらえるとありがたい。そうすることで要望と振興計画の違いを出していきたい。

委員：合併特例債が31年度までなので6年間という計画だが、今出している事業の中で31年度までに出来てしまう事業はほとんどない。その後はどうなるのか？途中で終わりなどということにはならないで欲しい。

事務局：そのような非効率なことはしないように着手から検討していきたい。通常であれば次期総合計画の期間であるH28から10年間のうち、合併特例債があり地域も3町限定という次期と何も無いときとでは、進行具合は変わってくる。出してもらった意見を整理し、担当課とも協議をして、委員会に報告することになっていくと思う。

委員：救急センターは、ありとあらゆる可能性を探って欲しい。都会へ行くと民間の救急車がありそこへの委託している話しも聞く。何が何でもだめだというようにはしないで欲しい。

委員：他地域では、過疎債の事業として上がっているのに総合計画にないからできないといった話を聞くがどうか。

事務局：今度の振興計画は、H26、27は現総合計画にH28以降は次期総合計画に載せる形で詰めて行きたい。H26、H27は各課とのヒアリングも行うのでその中で詰めていきたい。

事務局：道路については、林道は林業振興課と補助メニュー事業と市単独事業を調整して報告する。市道についても補助メニューは少ないが、合併特例債を使って優先して整備していくかなど首脳部を含めて担当課とも整理をして報告させていただくことでお願いしたい。

委員長：ということは、道路はこのままでよいか。

事務局：委員会として提案がこれでということであれば。

委員長：全体会議は、今日が初めてだがまず道路はこの案でいいか。最優先で整備してもらいたい箇所はあるか？

委員：飯地では、市役所まで全て2車線の道で行ってみたいとの意見もでた。県道整備を見ていると何年たっても出来そうにない。そうであればこの計画を認めてもらって早く進めてもらいたい。

委員：飯地中野方線を整備して、勢井後に橋をかけると全然ちがう。また、笠置山林道に接続する道路など道路の無いところに作るとアピールにもなる。

委員：まずは飯中線が一番ではないか。リニアができて東雲橋を通過して岐阜県駅へ行く。

委員長：では道路はまず飯中線を整備。そして寺久保林道と笠置山林道を繋ぐ道路を作る。

委員：飯中線の整備を出していただいているが、飯地ではもう少し広い範囲で考えている。

国道418号線が飯地に入るので、可児御嵩IC～新東雲橋～恵那ICが繋がるルートができる。リニア関連にも繋がるし、この道を整備するとそれに近い形となる。現道がないところは早めの取り組みが必要だし、林道も現在1車線なのか2車線なのかでおのずと整備するところは決まってくるのではないかと。道だけではなく道に付随したものをに入れていくとアピールになると思うがどうか。

委員：この事業は町民の後押しがあって、代表で出てきている。計画を作ったができませんでしたでは地元へ帰っても説明できない。この計画は、企画課として担当課に説明して回り実現させて欲しい。

委員長：道路に付随したものを張り付け、道を作ったら何が良くなるのか項目ごとに詰めていく。この項目が振興計画になると思う。

事務局：この後、7月～8月にかけて総合計画進行管理ヒアリングがあるので、その中で担当課にも説明していく。又、次回会議には概算の事業費などを提示して行きたい。

委員長：次回会議はいつ頃になるのか？

事務局：ヒアリングが終わり、各町の提案がまとまる8月下旬～9月上旬でお願いできればと思う。

委員長：次回会議では、3町提案事業と町ごとの提案事業について協議していきたい。

田中副委員長が閉会のあいさつをして終了。